

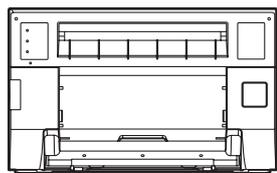
三菱デジタルカラープリンター

形名

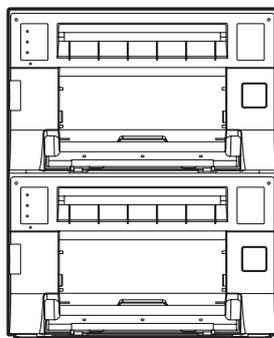
CP-D70D

CP-D707D

取扱説明書



CP-D70D



CP-D707D

このたびは三菱デジタルカラープリンターをお買い上げ
いただきありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。
万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき
きつとお役にたちます。

DIGITAL COLOR PRINTER

特長

目的に応じて 5 種類の印画サイズに対応

L判 (89 mm × 127 mm)、KG判 (102 mm × 152 mm)、2L判 (127 mm × 178 mm)、A5判 (152 mm × 203 mm)、A5ワイド判 (152 mm × 229 mm) の 5 種類の印画サイズが選べます。

300dpi の高解像度

画像データを鮮明に再現する 300dpi の高解像度を実現。緻密なイラストレーションや写真画像も驚くほどシャープに美しくプリントします。

大容量プリント

1 ロールあたりのプリント枚数は L判で 450 枚 (CP-D70D) ですので、ペーパー、インクリボンの交換頻度が大幅に減り、非常に効率的です。

高画質プリントを実現

画像の再現性に優れた昇華染料熱転写方式で YMC 各色 256 階調のフルカラー高精細プリントが可能です。

高速プリント

ダブルデッキシステム (CP-D707D)

上下で同じサイズをプリントする場合、L判のプリント枚数は 450 × 2 枚の大容量で、高速プリントをすることができます。

また、1 台で 2 種類のサイズのプリントも可能です。

Hi-Speed USB (Ver.2.0) インターフェイス対応

安全・
お願い

開
梱

各
部
の
名
称

準
備

ト
ラ
ブ
ル

そ
の
他

も
く
じ

特長	2
もくじ	3
安全のために必ず守ること	4 ~ 7
使用上のお願い	8 ~ 9
開梱	10
各部の名称とはたらき	11 ~ 12
前面	11
後面	12
ご使用前の準備	13 ~ 20
準備の流れ	13
可動ペーパーガイドの位置の決めかた	14
プリント用紙の入れかた	15 ~ 16
インクリボンの入れかた	17 ~ 18
ペーパー / インクリボンセットの取扱い	19
USB インターフェイスとの接続	20
プリンタードライバーのインストールについて	20
トラブルシューティング	21 ~ 24
前面インジケータの表示と処置	21
紙づまりの処置	22
インクリボンが切れたときの処置	23
サービスをお申しつけの前に	24
プリンター輸送時のお願い	24
クリーニングについて	25 ~ 26
仕様について	27

安全のために必ず守ること

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わないでください	 絶対に分解・修理はしないでください	 絶対に触れないでください
 絶対に水にぬらさないでください	 絶対にぬれた手で触れないでください	 手をはさまないように、注意してください
 必ず指示に従い、行ってください	 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください	 やけどなど高温による障害に注意してください
 必ずアース線を取り付けてください	 感電による障害に注意してください	

 警告	
<p>万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く！！ 異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。</p>	 プラグを抜く
<p>電源プラグを、コンセントからすぐに抜くことができる場所に設置する 異常発生時、電源プラグをコンセントからすぐに抜くことができないと、火災の原因になります。</p>	 電源プラグがすぐ抜ける場所
<p>煙が出ている、変なおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く！！ 異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理をご依頼ください。</p>	 使用禁止
<p>キャビネットをはずしたり、改造しない 内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。</p>	  感電注意 分解禁止

安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

トラブル

その他

もくじ

 警告	
<p>不安定な場所には置かない</p> <p>ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。</p>	 禁止
<p>内部に異物を入れない</p> <p>特にお子様にご注意を 用紙排出口や通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。</p>	 禁止
<p>電源コードを傷つけない</p> <p>●重いものをのせない ●引っ張らない ●ねじらない ●束ねない ●無理に曲げない ●加熱しない ●加工しない</p> <p>コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。 電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。</p>	 禁止
<p>水でぬらさない</p> <p>火災や感電の原因となります。 雨天時の窓辺での使用は、特にご注意ください。</p>	 水ぬれ禁止
<p>落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない</p> <p>火災や感電の原因となります。</p>	 使用禁止
<p>花瓶やコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない</p> <p>内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。</p>	 水ぬれ禁止
<p>正しい電源電圧 (交流 100V) で使う、また配線器具の定格電流をこえない</p> <p>●交流 100V 以外の電圧で使用したり、配線器具の定格電流をこえて使用したりすると、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。 ●必ず漏電ブレーカーを備えたコンセントから本機に電源を供給してください。火災や感電の原因となります。</p>	 交流 100V
<p>雷が鳴り出したら本体および電源プラグには触れない</p> <p>感電の原因となります。</p>	 接触禁止
<p>付属の電源コードを使用する</p> <p>これ以外の電源コードを使うと、外部からの耐ノイズ入力性能が低下したり、火災の原因となります。</p>	 付属の電源コード
<p>確実に接地する</p> <p>電源コードについている 3 ピン電源プラグを、それに合う接地付きコンセント (3 ピン用) に直接差し込んでください。この方法で接地接続を容易に行うことができます。</p>	 確実に接地する

安全・お願い
開梱
各部の名称
準備
トラブル
その他
もくじ

 <h1 style="font-size: 2em; margin: 0;">注意</h1>	
<p>設置時は、次のような場所には置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●湿気やほこりの多い場所 ●直射日光の当たる場所 ●閉めきった自動車内など、高温になる場所 ●製氷倉庫など、低温になる場所 ●自動車内など、振動が多い場所 ●温泉地など、硫化水素などのガスが発生する場所 ●海岸近くなど、塩分の多い場所 <p>このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被膜が溶けるなどにより、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。</p>	 設置禁止
<p>通風孔をふさがない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●風通しの悪い狭い場所に置かない ●テーブルクロスなどをかけない <p>通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</p>	 禁止
<p>接続したまま本機を移動させない</p> <p>電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続機器とのケーブルをはずしたことを確認してから移動させてください。</p>	 禁止
<p>電源プラグを持って抜く</p> <p>電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。</p>	 プラグを持つ
<p>本機の上に重いものを置いたり、本機の上へのらない</p> <p>特にお子様にご注意を</p> <p>バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。</p>	 禁止
<p>プリント用紙排出口に手を入れない</p> <p>特に小さなお子様にご注意を</p> <p>プリント出口内部には用紙を切断するためのカッターがありますので、手を切るなどのけがの原因となることがあります。</p>	 禁止
<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>	 水ぬれ禁止
<p>前面ドアの開閉のときはマージンカットボックスを外す</p> <p>マージンカットボックスをつけたまま前面ドアの開閉を行うと、プリンター本体からマージンカットボックスが脱落して、けがや破損の原因となることがあります。また、プリント出口内部にマージンカット時の切りくずが詰まる原因となることがあります。</p>	 本体から外す
<p>プリンティングユニットを開けたままにしない</p> <p>プリンティングユニットを開けたまま本機を動かすと、けがや故障の原因となることがあります。</p>	 禁止
<p>プリンティングユニットやドアを上から押さえつけない</p> <p>バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。</p>	 禁止

安全・お願い
開梱
各部の名称
準備
トラブル
その他
もくじ

 注意	
<p>クリーニング時以外は本機内部のサーマルヘッドには触れない 高温になっている場合があるため、触れるとやけどやけがの原因となることがあります。また、静電気による障害（機器故障など）の原因となることがあります。</p>	 静電気注意  高温注意  接触禁止
<p>プリント用紙を置くときは立てて置く 机上などに横向きに置くと転がって落下し、けがの原因となることがあります。</p>	 立てて置く
<p>長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いておく 安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>	 プラグを抜く
<p>電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。 1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。</p>	 ほこりを取る
<p>日本国内専用です この製品は日本国内用ですので、電源電圧の異なる日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。 This DIGITAL COLOR PRINTER is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.</p>	 日本専用
<p>プリンティングユニットは確実に押し込んで閉じる プリンティングユニットを閉めるときは、手をはさまないようにご注意ください。プリンティングユニットが確実に閉まっていないと、本機を動かしたときにプリンティングユニットが開き、けがや故障の原因となることがあります。</p>	 手はさみ注意  確実に閉める
<p>紙づまりの処置の際は、取扱説明書で指定している場所以外には触れない 内部には高温の部分があり、触れるとやけどの原因となることがあります。</p>	 接触禁止
<p>お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う 安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</p>	 プラグを抜く
<p>5年に一度は内部の掃除を依頼する 販売店にご依頼ください。 内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。 内部掃除費用については、販売店にご相談ください。</p>	 内部掃除

安全・お願い
開梱
各部の名称
準備
トラブル
その他
もくじ

使用上のお願い

<p>露付きが起こった場合は (本機の内部に水滴がつくことを露付きといいます)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●露付き状態で本機を使用すると、プリント用紙やインクリボンの表面に湿気や露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因となります。露付きが起こりそうなときは、電源を入れて2時間以上おいてからご使用ください。プリント用紙が装着されているときは、用紙を取り出してください。 ●露付きは次のようなときに起こります。 <ul style="list-style-type: none"> ・部屋を急激に暖房したとき ・エアコンなどの冷風を直接当てたとき ・本機を寒いところから暖かいところに移動させたとき ●露付きしたプリント用紙およびインクリボンは正常にプリントできない場合がありますので、新しい用紙と取り替えてください。 	<p>プリント中は</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機を動かしたり、プリンティングユニットを開けたりしないでください。プリント不良の原因となります。 ●プリント用紙を引っ張らないでください。プリント用紙排出時は、排出が完了するまでプリント用紙に触れないでください。プリント不良やエラーの原因となります。 ●本機内部の温度によっては、プリント途中で一時停止することがあります。(POWERインジケータが緑色に点滅します。)この場合、しばらくすると自動的にプリントは再開されますので、そのままお待ちください。プリント用紙には触れないでください。 ●プリント終了後は、裁断されたプリント用紙をそのままにしておかず、1枚ずつ取り除いてください。そのままにしておくと、紙づまりの原因となることがあります。 ●強い風の吹くところで本機を使用すると、紙づまりの原因となることがあります。
<p>置き場所、取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ●水平においてください。傾いた状態や不安定な場所で使用すると、本機に悪い影響を与えます。 ●殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。 ●周囲温度は5℃～40℃、湿度は30%～80%RHでお使いください。本機をシステムラックに組み込んだときは、ラック内の温度、湿度も上記の範囲でお使いください。 ●低温でご使用の際には、プリント開始までに多少時間がかかることがあります。 ●本機の上に重いものを載せないでください。キャビネットを傷めたり、故障の原因となります。 ●プリンティングユニットやドアを開けたとき、上から押さえつけしないでください。故障やプリント不良の原因となります。 	<p>プリント用紙、インクリボン</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プリント用紙やインクリボンに付着したゴミやホコリ、あるいは低・高温時における変形等のためプリント画の中に微妙な色抜けや色ムラ、スジ、シワが発生することがあります。
<p>接続機器、接続ケーブル</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機に接続して使用する機器の取扱説明書に記載されている「使用上のご注意」をよくごらんください。 	<p>マージンカットボックス</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プリント出口につまるのを防ぐために、こまめにくずを捨ててください。 <p>ペーパートレー</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ペーパートレーは、裁断されたプリント用紙(KG判(102 mm × 152 mm)以下のサイズ)を一時的にためておくためのものです。プリント用紙がこぼれ落ちたり、プリントした順にたまらないことがあります。 <p>電源を切るときは</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プリント終了後に切ってください。プリント中に電源を切ると、プリントが中断し、紙づまりの原因となります。

安全・お願い
開梱
各部の名称
準備
トラブル
その他
もくじ

<p>お手入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●前面パネル部分の汚れは柔らかい布でふいてください。 ●汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよくしぼって汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。 ●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。 ●ベンジン、シンナーなどの溶剤は、使わないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。 	<p>本機を移動させるときは</p> <ul style="list-style-type: none"> ●プリンティングユニットが確実に閉じていることを確認してください。また、誤って OPEN ボタンに触れないようご注意ください。プリンティングユニットが確実に閉じていなかったり、誤って OPEN ボタンに触れた場合、プリンティングユニットが飛び出してけがや故障の原因になることがあります。
<p>引っ越しや輸送のときは</p> <ul style="list-style-type: none"> ●インクカセットおよび本機内のプリント用紙を取り出してから梱包してください。「プリンター輸送時のお願い」(24 ページ) をごらんください。 	<p>サーマルヘッドの磨耗と交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サーマルヘッドは磨耗します。サーマルヘッドが磨耗すると鮮明な画像がプリントできなくなることがあります。このような場合はサーマルヘッドの交換が必要です。サーマルヘッドの交換は販売店にご相談ください。 <p>著作権</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ご自身が制作、撮影した映像以外からのプリントは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

 静電気放電 (ESD): 静電気による障害 (機器故障など) の可能性があるので注意してください。

 交流: 電源電圧は交流です。

 OFF/ON: 電源の切り離し / 接続を表します。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

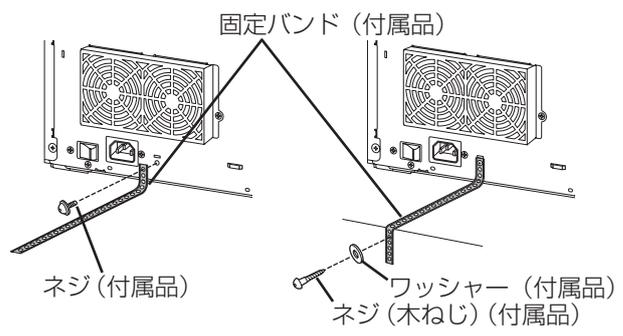
本機を使用中に万一発生した故障等の不具合によりプリントされなかった内容の補償についてはご容赦願います。

転倒防止についてのお願い

⚠ 注意

衝撃などで本機が転倒すると、けがの原因になることがあります。安全確保のために、設置場所が決まったら以下の処置をお願いします。

1. 本機に固定バンド (付属品) をネジ止め (付属品) します。
2. 固定バンドの反対側を設置場所にネジ止めします。



開梱

開梱

プリンターは下記の手順で箱から取り出してください。付属品はそろっているか、あわせて確認してください。

① 箱を開け、梱包材と付属品を取り出します。

保護ダンボールを取り除き、付属品を取り出します。

CP-D70D

CP-D707D

保護ダンボール 付属品

② プリンターを取り出します。

図のように、まっすぐ上に引き上げてください。

お知らせ

このプリンターは質量がCP-D70Dは約12kg、CP-D707Dは約22kgありますので、取扱いに注意してください。CP-D707Dを取り出したり移動するときは、必ず二人で作業してください。

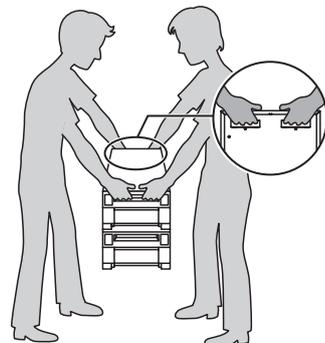
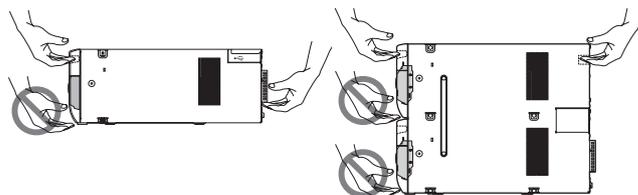
③ 包装を取り除きます。

輸送用の保護テープ等を取り除いてください。

プリンターを移動させるときは、マージンカットボックスを外して前面上部と後面の取っ手を持ってください。

⚠ 注意

- マージンカットボックスを付けたままボックスの下に手を入れて本機を運ばないでください。ボックスが外れて本機が落下し、けがの原因になることがあります。
- プリンティングユニットが確実に閉じていなかったり、誤ってOPENボタンに触れた場合、プリンティングユニットが飛び出してけがや故障の原因になることがあります。



■ 付属品

クッションの上に入っています。万一足りない部品がある場合は、販売店にご連絡ください。



クイックセット
アップガイド



CD-ROM



電源コード



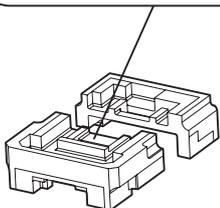
結束バンド



固定バンド・ネジ
ワッシャー



ペーパートレイ
(CP-D70D 1個
CP-D707D 2個)



ペーパーフランジ



スペーサー



インクカセット



マージンカット
ボックス

CP-D70D 1セット

CP-D707D 2セット

それぞれプリンティングユニットに収められています。

ご使用前に、インクカセットやフランジの保護シートを取り除いてください。

安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

トラブル

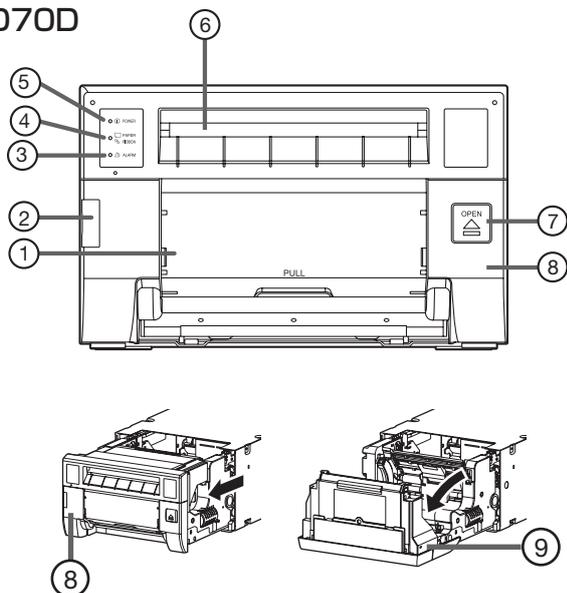
その他

もくじ

各部の名称とはたらき

前面

CP-D70D



① マージンカットボックス

マージンカット時に生じる切りくずを内部にためます。プリント出口につまるのを防ぐために、こまめにくずを捨ててください。

お知らせ

ドアを開けるときは、先にこのボックスを取りはずしてください。取りはずさないで、プリンター本体及びこのボックスの破損の原因となります。プリント中はマージンカットボックスを取りはずさないでください。動作不良の原因となります。

② オプション用コネクターカバー

通常は使用しません。

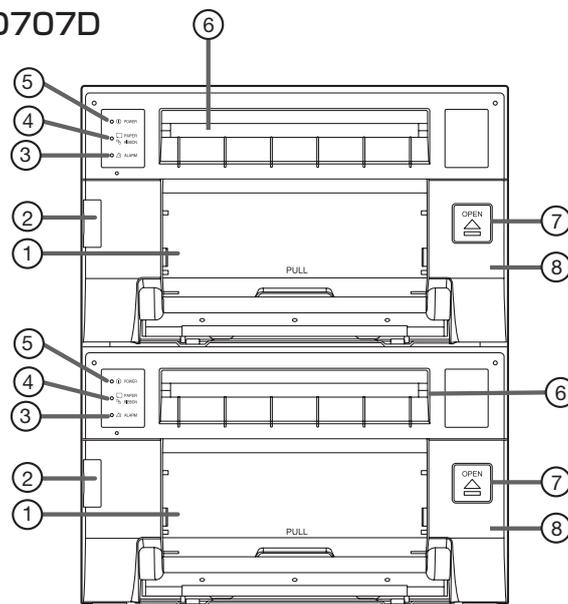
③ ALARM インジケーター (△)

紙づまり、ドアが開いているときなどに点灯または点滅します。21 ページをごらんください。

④ PAPER RIBBON インジケーター (□/%)

インクリボンとプリント用紙に関するエラーが起こったとき点灯または点滅します。21 ページをごらんください。

CP-D707D



⑤ POWER インジケーター (○)

電源が入ると、点灯します。通常はグリーンに点灯しますが、プリンターの状態によって点滅またはオレンジに点灯します。21 ページをごらんください。

⑥ プリント出口

プリントされた用紙の出口です。

⑦ OPEN ボタン (△)

このボタンを押してプリンティングユニットを引き出します。

⑧ プリンティングユニット

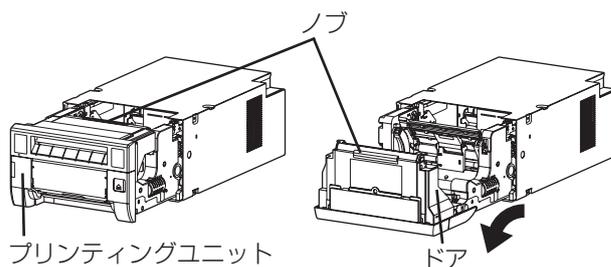
プリント用紙やインクリボンを入れるときに開けます。⑦ OPEN ボタンを押すと、開きます。

⑨ ドア

プリント用紙を入れるときに開けます。

ドアの開けかた

OPEN ボタンを押してプリンティングユニットを引き出したあと、ノブを引いてドアを開けます。



安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

トラブル

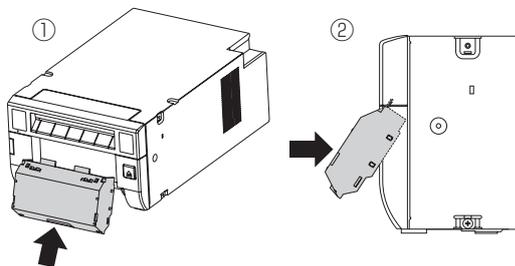
その他

もくじ

各部の名称とはたらき

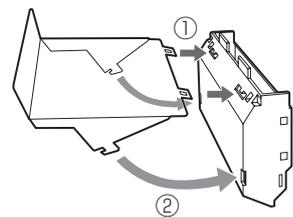
マージンカットボックス

ボックスを押し上げて①、②の順にしっかりと取り付けます。ボックス底部の取っ手を持って手前に引くと、取り外せます。



ペーパートレイ

マージンカットボックス上部の突起部にトレイ上部のツメをかけます。(①) 次にボックスの両側の穴に、トレイ下部のツメをかけて固定します。(②)

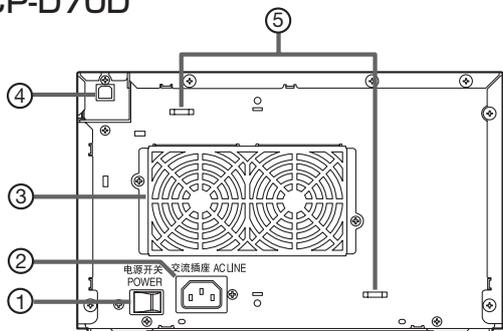


お知らせ

2L判 (127 mm × 178 mm)、A5判 (152 mm × 203 mm)、A5 ワイド判 (152 mm × 229 mm) のときは、ペーパートレイを取り外してください。

後面

CP-D70D



① POWER スイッチ

電源の ON/OFF に使います。

② AC LINE ソケット

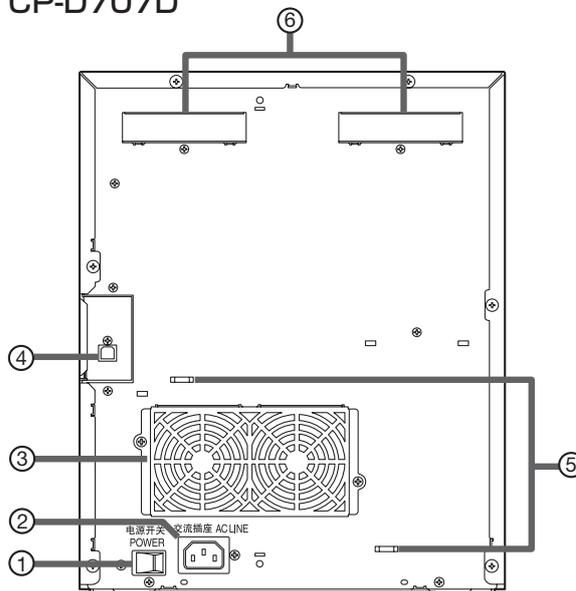
付属の電源コードを接続するソケットです。確実に接続してください。

③ ファンカバー

本体運搬用取っ手 (CP-D70D)

本機を持ち運ぶときは、この取っ手と前面上部を持ってください。

CP-D707D



④ USB 端子

USB ケーブルを接続します。

接続については 20 ページをごらんください。

⑤ 結束バンド取り付け部

結束バンド (付属品) を使って電源コードや USB ケーブルを固定するときに使います。

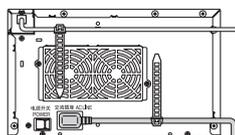
⑥ 本体運搬用取っ手 (CP-D707D)

本機を持ち運ぶときは、この取っ手と前面上部を持ってください。

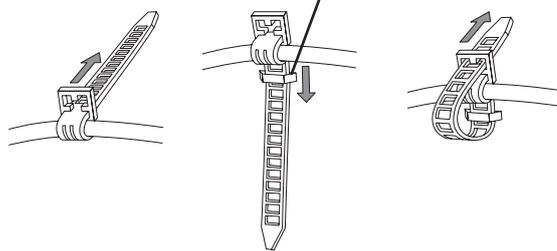
電源コード、USB ケーブルの固定方法

1. 電源コードまたは USB ケーブルに結束バンド (付属品) を巻き付けます。
2. 結束バンドを本機後面の結束バンド取り付け部に通し、固定します。

固定例



結束バンド取り付け部



安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

トラブル

その他

もくじ

ご使用前の準備

準備の流れ

プリントする前に次の準備をしておきます。

可動ペーパーガイドの位置を調節する

(14 ページ)



プリント用紙を入れる

(15 ~ 16 ページ)



インクリボンを入れる

(17 ~ 18 ページ)



パーソナルコンピューターと接続する

(20 ページ)

CP-D707D を使用するときには、プリンティングユニットごとに太枠内の準備が必要です。
準備が終わったら、必ずプリンティングユニットを閉じてください。

安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

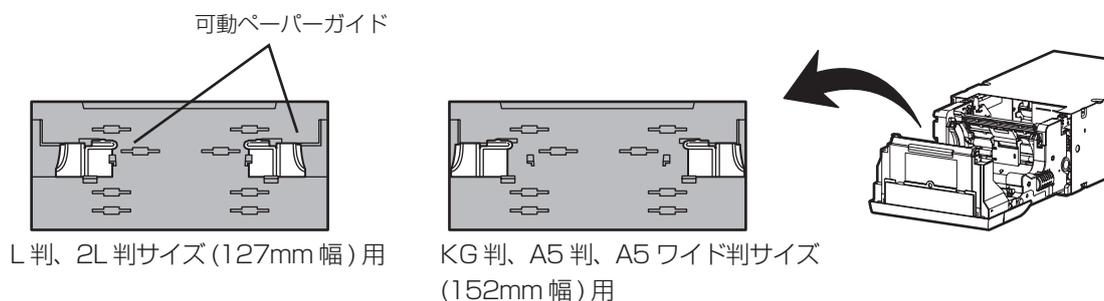
トラブル

その他

もくじ

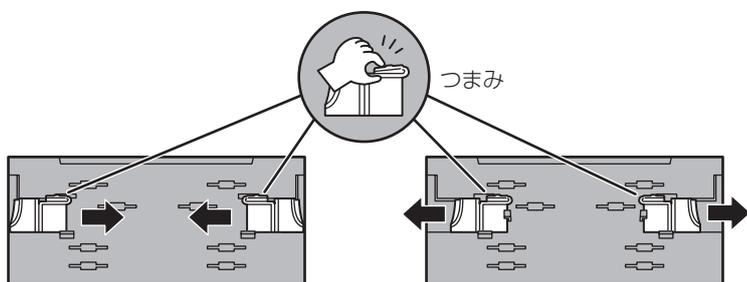
可動ペーパーガイドの位置の決めかた

ご使用になるプリント用紙サイズに合わせて、可動ペーパーガイドの位置を調整してください。



■ 可動ペーパーガイドの動かしかた

① 可動ペーパーガイドのつまみをつまんで、左右にスライドさせます。



② 止まるまでスライドさせると、ペーパーガイドが所定の幅に固定されます。

③ もう片方も同様にスライドさせます。

お知らせ

可動ペーパーガイドは必ず使用するプリント用紙のサイズに合わせて調節してください。用紙のサイズと合っていない場合、紙づまりや印画ズレ等の不具合が発生することがあります。

お知らせ

L判、2L判(127mm幅)の用紙を長期間使用したあと、あるいは大量に印刷したあとに、KG判、A5判、A5ワイド判(152mm幅)のプリント用紙をご使用になるとき、サーマルヘッドのクリーニングが必要になる場合があります。クリーニングについては、25ページをごらんください。また、クリーニングを行ってもプリント画質が改善されない場合があります。サーマルヘッドの交換が必要となりますので、くわしくは販売店にご相談ください。

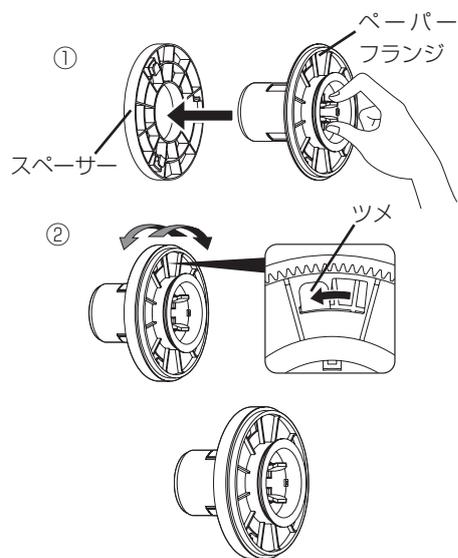
プリント用紙の入れかた

スペーサーについて

■ スペーサーの要否については、「クイックセットアップ」をごらんください。

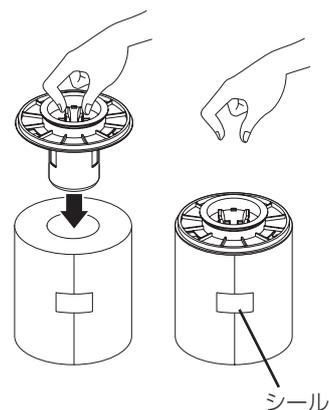
スペーサーの取り付け方法

- ① ペーパーフランジのつまみをつまんだ状態でスペーサーを取り付けます。
- ② フランジとスペーサーをツメがロックするまで回します。
スペーサーを取り外すときは上記と逆の手順で取り外してください。



① 付属のペーパーフランジをプリント用紙の両側に取り付けます。

ペーパーフランジのつまみを指で強くつまむと、フランジ軸部のストッパーが軸内に納まります。その状態でフランジをプリント用紙に取り付けます。
すき間がないように確実に取り付けられたことを確認してから、指を離します。

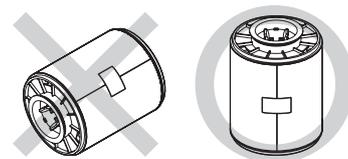


お知らせ

- ・ 指をはさまないようにご注意ください。
- ・ ここではまだプリント用紙のシールを取らないでください。
- ・ プリント用紙をたるませないでください。たるませたままプリントするとプリント不良の原因となります。

⚠ 注意

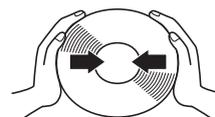
プリント用紙を置くときは、立てて置いてください。
横向きに置くと転がって落下し、けがの原因となることがあります。



お知らせ

プリント用紙やインクリボンの表面を指紋やほこりなどで汚さないでください。
プリント画質の劣化や紙詰まりの原因となります。

プリント用紙の変形によりペーパーフランジを取り付けられない場合、プリント用紙を手で形を整えてからペーパーフランジを取り付けてください。



安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

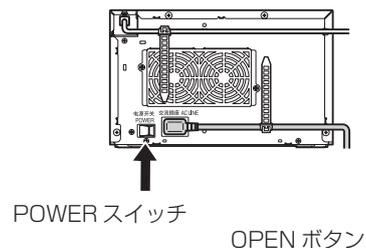
トラブル

その他

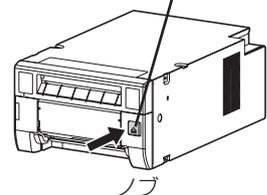
もくじ

ご使用前の準備

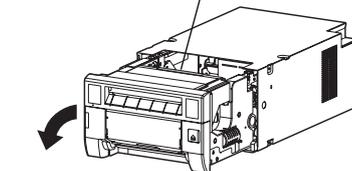
② 本体後面の POWER スイッチを押して、本機の電源を入れます。



③ POWER インジケーターがオレンジ点灯からグリーン点灯に変わったら、OPEN ボタンを押してプリンティングユニットを引き出します。

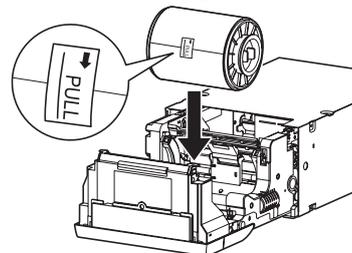


④ マージンカットボックスを取り外してからノブを引いてドアを開けます。



⑤ プリント用紙を本体に取り付けます。

プリント用紙を正しい向きに入れてください。
プリント用紙が下までしっかりと入っていることを確認してください。

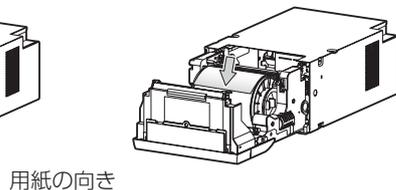
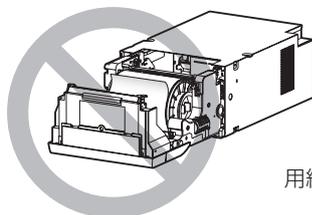


⚠ 注意

プリンティングユニットやドアを上から押さえないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

お知らせ

- 必ず本体の電源を入れてから、プリント用紙をセットしてください。紙づまりの原因になることがあります。
- ゆっくりと取り付けてください。溝の上端から落としたりすると、本機や付属品が破損する恐れがあります。



⑥ シールをはがし、プリント用紙を右図のようにローラーとガイドの間に通して送ります。ブザーが鳴ったところで止めてください。

シールはプリント用紙をローラーとガイドの間にとおす前に必ずはがしてください。
このとき、プリント用紙が斜めに入らないようにします。
ブザーはプリンティングユニットを閉じるまで鳴り続けます。

お知らせ

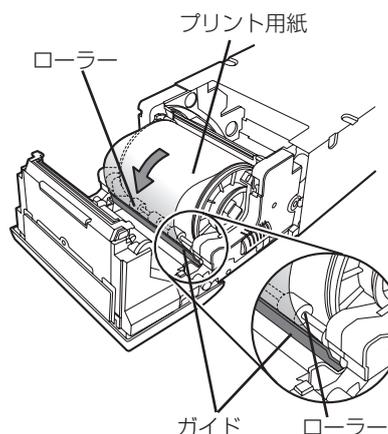
ローラーを汚さないように注意してください。
ローラーが汚れていると、プリント不良の原因となります。

お知らせ

- プリント用紙を取りはずすときは、ペーパーフランジを手前に引きながら持ち上げてください。
- プリント用紙は、必ず電源を入れた状態で交換してください。
- たるんだプリント用紙はよく巻き取ってください。たるんだままでドアを閉じるとプリント用紙が傷む場合があります。

お知らせ

ブザーが鳴った後もプリント用紙を止めずに奥まで送り続けると、紙づまりの原因になることがあります。



⑦ ドアを閉じます。

安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

トラブル

その他

もくじ

インクリボンの入れかた

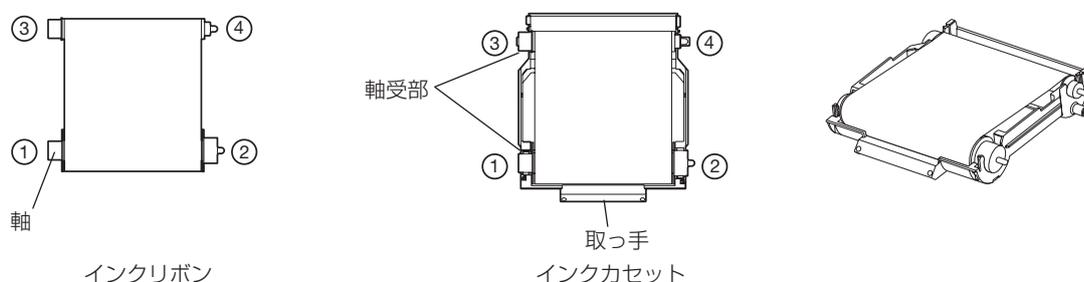
プリント用紙を入れてから、インクカセットを本機に装着します。
本機にインクカセットを装着する前に、別売のインクリボンインクカセットに組み込んでください。

お知らせ

- ・ インクカセットを平らなところに置いて、インクリボンを組み込んでください。
- ・ インクリボンはほこりのない場所で組み込んでください。インクリボンにほこりやゴミが付着すると、プリント不良の原因となります。
- ・ インクリボンの軸がしっかりとインクカセットに入っていることを確認してください。

1 図のようにインクリボンをインクカセットに入れます。

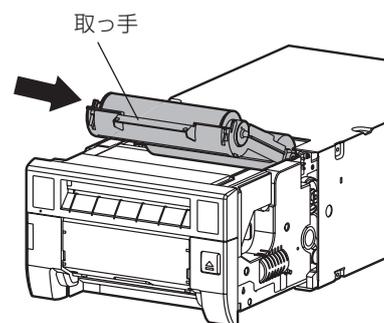
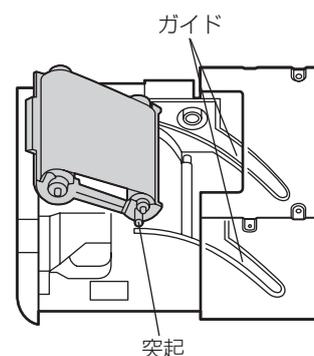
インクリボンとインクカセットの方向にご注意ください。



インクリボンの軸が軸受け部に確実にはいっていることを確認してください。
インクリボンがたるんでいるときは、手前側の軸を回してたるみをとってください。

2 インクリボンの入ったインクカセットを図の位置に挿入します。

インクカセット両側の突起をプリンティングユニット内側の左右のガイドに合わせ、ななめにすべりこませるように挿入してください。
取っ手を持って奥まで挿入してください。



お知らせ

サーマルヘッドには触れないようにしてください。
サーマルヘッドにゴミや指紋が付くとプリント不良の原因となります。

⚠ 注意



プリント直後のサーマルヘッドは高温になっています。触れないよう、ご注意ください。やけどやけがの原因になることがあります。

お知らせ



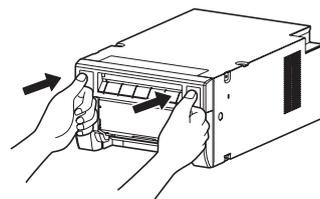
サーマルヘッドは静電気に弱いのでご注意ください。静電気が発生した状態でヘッドに触れると、故障する場合があります。

ご使用前の準備

③ プリンティングユニットを押して、プリンティングユニットを閉じます。

プリンティングユニット正面の左右を両手で押して閉じてください。

電源が入った状態で新しいプリント用紙を取り付けてプリンティングユニットを閉じると、自動的にプリント用紙がフィード&カットされます。



⚠ 注意



本体とプリンティングユニットの間に手をはさまないように閉めてください。けがの原因となることがあります。

お知らせ

- ・ プリンティングユニットを閉じたとき、「カチッ」とロック音がするまで押し込んでください。
- ・ プリンティングユニットを閉じたとき PAPER RIBBON インジケーターが点灯した場合は、正しく装着されていない可能性があります。プリンティングユニットを開けて正しく装着されているか確認してから、再度プリンティングユニットを閉じてください。
- ・ プrint用紙の装着を3回以上行くと、インクリボンより先にプリント用紙がなくなる場合があります。

プリント用紙とインクリボンの装着は以上で完了です。

お知らせ

- ・ プrint用紙とインクリボンの交換は必ず同時に行なってください。
- ・ プrint出口につまるのを防ぐために、こまめにマージンカットボックスの切りくずを捨ててください。Print用紙とインクリボンを交換するときは、必ずマージンカットボックスの切りくずを捨ててください。
- ・ プrint用紙とインクリボンを交換するときは、サーマルヘッドとプラテンローラーのクリーニングも行ってください。クリーニングについては「[クリーニングについて](#)」(25、26 ページ) をご覧ください。

安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

トラブル

その他

もくじ

ペーパー / インクリボンセットの取扱い

■ プリント前の取扱い

- プリント用紙の表面に指紋やゴミ等が付いた場合、印画品質の低下や紙づまりの原因になる場合があります。
- 本機を低温の場所から高温の場所へ急に移動した場合、紙の表面に湿気または露が付き、印画品質の低下や紙づまりの原因になることがあります。このような場合には、本機をしばらく室内に放置してからご使用ください。
- プリント用紙の装着を繰り返すと、所定の枚数分のプリントができなくなる場合があります。また、プリント用紙を途中で交換した場合も、所定の枚数分のプリントができなくなる場合があります。

■ プリント後の取扱い

- 紙が有機溶剤（アルコール・エステル・ケトン類など）を吸収すると、画像が退色します。
- セロハンテープ、軟質塩ビなどに密着させると、化学反応で退色が早くなりますのでご注意ください。
- プリント後の紙は、なるべく直射日光など強い光の当たらない湿度の低い場所で保管してください。

■ ペーパー / インクリボンセットの保管

- プリント用紙やインクリボンは軟質塩ビなどのフォルダーに保管しないでください。化学反応で脱色します。
- プリント用紙やインクリボンは直射日光や暖房器具のそばを避け、温度 5℃～ 30℃、湿度 20%～ 60%RH の冷暗所で保管してください。

安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

トラブル

その他

もくじ

USB インターフェイスとの接続

■ パーソナルコンピュータと接続する（例）

接続の前にプリンターの電源が入っていることを確認してください。

① パーソナルコンピュータの電源を入れます。

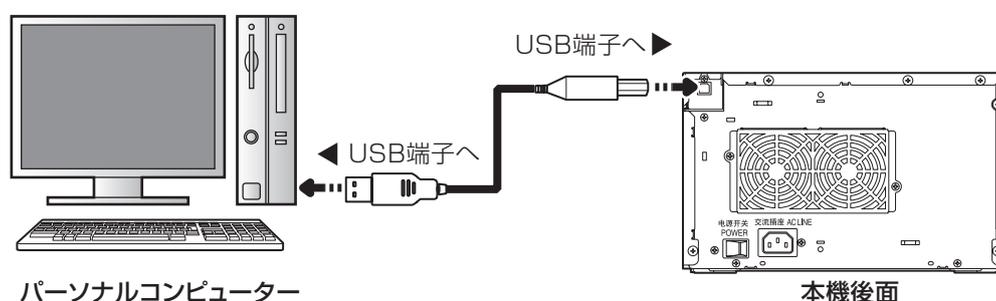
② プリンタードライバーをインストールします。

お知らせ

ここではまだパーソナルコンピュータとプリンターを接続しないでください。

詳しくは、本 CD-ROM に入っている「プリンタードライバーガイド」をごらんください。

本機とパーソナルコンピュータは以下のように接続します。



お知らせ

本製品には USB ケーブルは同梱されていません。市販の 2m 以下の USB2.0 認証ケーブルをご使用ください。

プリンタードライバーのインストールについて

■ 接続したパーソナルコンピュータのデータを本機でプリントするためには、プリンタードライバーが必要です。本 CD-ROM には Windows[®] が動作するコンピューター用のプリンタードライバーが入っています。

■ プリンタードライバーのインストール方法など、くわしくは本 CD-ROM に入っている「プリンタードライバーガイド」をごらんください。

● Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

トラブルシューティング

前面インジケータの表示と処置

■ 本機がプリントできなくなったり、プリント中にエラーが生じた場合は、本機前面のインジケータが点灯または点滅しエラーを知らせます。この場合は下表を参考に処置を行ってください。

○[⏏] : 点灯 ● : 消灯 ○● : 点滅

ALARM	PAPER RIBBON	POWER	原因 / 処置	参照ページ
●	●	○ [⏏] (オレンジ)	本機はスタンバイ状態です。 USB ケーブルがプリンターに接続されていない場合は、ケーブルを接続してください。 画像のデータを転送してからプリントできる状態になるまでに時間がかかることがあります。	11 20
○●	●	○ [⏏] (グリーン)	プリンティングユニットが開いている。 ・プリンティングユニットを閉めてください。	11
○●	○●	○ [⏏] (グリーン)	紙づまりまたはインクリボンのトラブルが発生した。 ・「紙づまりの処置」をごらんの上、処置してください。	22
●	●	○● [⏏] (グリーン)	サーマルヘッドの温度が高くなった、または低くなった。 ・しばらくお待ちください。インジケータの点滅が消えると自動的にプリントが再開されます。	11
●	○●	○ [⏏] (グリーン)	本機で使用できないインクリボンが装着されている。 ・新しいインクリボンを装着してください。 パーソナルコンピュータの設定と、装着されているインクリボン/プリント用紙の組み合わせが正しくない。 ・本機のプリンティングユニットを開け、装着されているインクリボン/プリント用紙がパーソナルコンピュータで設定されている組み合わせと合っているかを確認してください。確認後、プリンティングユニットを閉じてください。	17-18
●	○	○ [⏏] (グリーン)	プリント用紙またはインクリボンが装着されていない。 プリント用紙またはインクリボンが終了した。 ・新しいプリント用紙またはインクリボンを装着してください。	15-18
○	●	○ [⏏] (グリーン)	その他のエラー	24

ALARM、PAPER RIBBON インジケータのいずれかが点灯、点滅した場合、ドアを開けて上記の処置を実施してください。

安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

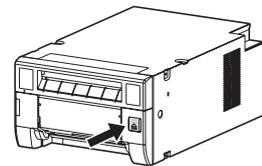
トラブル

その他

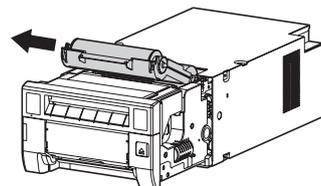
もくじ

紙づまりの処置

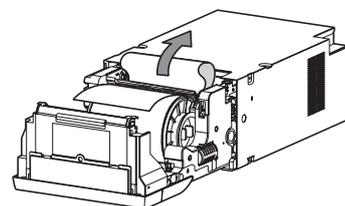
① OPEN ボタンを押して、プリンティングユニットを開けます。
プリンティングユニットを開ける時、本機の電源が ON になっていることを確認してください。



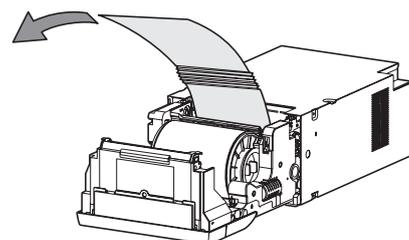
② インクカセットを外します。



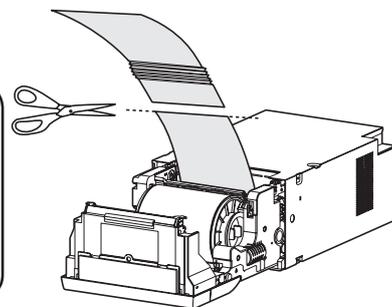
③ ドアを開けます。



④ プリント用紙のしわになっている等の不良部分を、矢印の方向に引き出します。



⑤ 引き出した部分をはさみで切り取ります。



お知らせ

- ・ プリントされた部分は必ず切り取ってください。すでにプリントされた部分にさらにプリントすると、プリント用紙にインクリボンが貼り付き、インクリボンが切れることがあります。
- ・ サーマルヘッドとプラテンローラーのクリーニングを行ってください。クリーニングについては「[クリーニングについて](#)」(25、26 ページ)をごらんください。

⑥ プリント用紙を一度取り出します。

⑦ プリント用紙と、インクリボンの入ったインクカセットを装着します。
(15 ~ 18 ページ 参照)

⑧ ドアを閉じます。

⑨ プリンティングユニットを押して、プリンティングユニットを閉じます。

安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

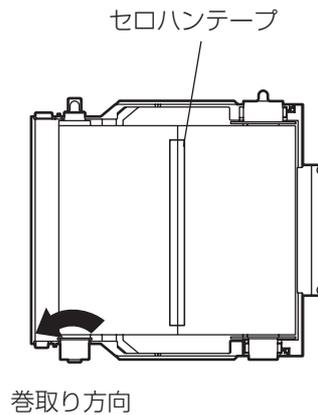
トラブル

その他

もくじ

インクリボンが切れたときの処置

- ① インクカセットをゴミやほこりのないきれいな場所におきます。
- ② 透明なセロハンテープなどを使って、インクリボンの切れた両端を図のように中央1カ所をつなぎます。



- ③ セロハンテープを貼った部分が見えなくなるまで、インクリボンの軸を矢印方向に回します。
- ④ インクカセットをプリンターに装着します。

安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

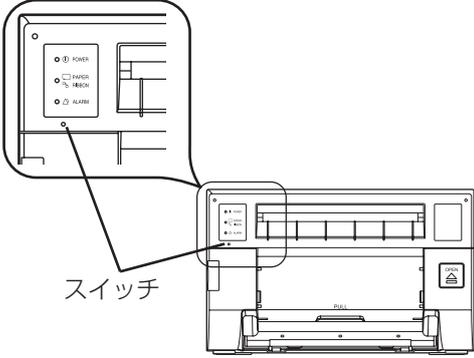
トラブル

その他

もくじ

サービスをお申しつけの前に

このようなときは以下の表を参考にもう一度点検してください。

症 状	原 因 / 処 置
電源が入らない	電源プラグがコンセントからはずれていませんか？ → 本機のプラグを電源コンセントに差し込んでください。 → 保護回路が働いている場合がありますので、電源を“OFF”にして約2分間お待ちください。その後電源を“ON”にしてください。
プリンティングユニットが開かない	プリンター動作中に電源をOFFにしていますか？ → 電源をONにしてからプリンティングユニットを開けてください。
プリントできない	PAPER RIBBON インジケータまたは ALARM インジケータが点灯または点滅していませんか？ → 「前面インジケータの表示と処置」(21 ページ) をごらんください。適切なサイズの画像をデータ転送していますか？ → 再確認してください。 インクリボン、またはプリント用紙が終了していませんか？ → 再確認してください。 プリンティングユニットは確実に押し込まれていますか？ → 再確認してください。 → 上記の操作を行ってもインジケータの点灯または点滅が解除できないときは、インクリボンとプリント用紙を取り出し、再度装着してください。
エラーが解除できない	→ プリンティングユニットが確実に押し込まれた状態で電源をOFF / ON してください。プリンターが初期化されます。 → 本機前面の穴内部のスイッチを、細い棒などで5秒以上押ししてください。 

プリンター輸送時のお願い

修理等で本機を輸送する場合は、以下の項目を必ずお守りください。

1. 純正の梱包材を使用する。

梱包材は、1 往復程度の使用は可能ですが、それ以上の使用は輸送条件によっては製品の保証ができなくなる場合があります。本機を再び輸送する場合は、梱包材を別途ご購入ください。
インクリボン、プリント用紙は本体から取りはずしてください。

2. プリンティングユニットを確実に閉じる。

プリンティングユニットを閉じたとき、「カチッ」とロック音がするまで押し込んでください。

⚠ 注意

プリンティングユニットが確実に閉じていなかったり、誤って OPEN ボタンに触れた場合、プリンティングユニットが飛び出してけがや故障の原因になることがあります。

3. インクリボン、プリント用紙、インクカセットを本機から取り出すことができない場合は、VCP テクニカルセンター（裏表紙参照）に相談する。

安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

トラブル

その他

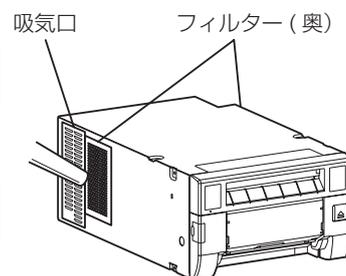
もくじ

クリーニングについて

本機を長期間安定してお使いいただくために、以下の手順で本機内部をクリーニングしてください。
クリーニングするときは、けがを防ぐため手袋を着用することをおすすめします。
クリーニングの前に POWER スイッチを押して、必ず電源を OFF にしてください。

フィルターのクリーニング

図のようにフィルター部分と吸気口を掃除機でクリーニングしてください。



サーマルヘッドのクリーニング

① OPEN ボタンを押して、プリンティングユニットを開けます。

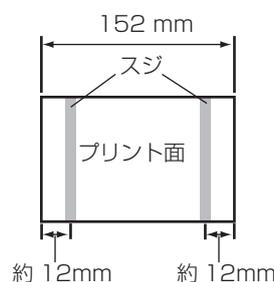
② インクカセットを取り出します。

準備するもの

- アルコール（エチルアルコールなど）
- やわらかいきれいな布

その他、別売のクリーニングリボンがあります。
別売品についてはお買いあげの販売店にお問い合わせください。

プリント面にスジが入る場合、サーマルヘッドのクリーニングを行ってください。
布にアルコールを少量しみこませて、ヘッド清掃部（右図）を軽くていねいに拭き取ってください。



お知らせ

- サーマルヘッドに傷をつけないようにご注意ください。
- クリーニングしてもプリント画質が改善されない場合はサーマルヘッドの交換が必要です。くわしくは販売店にご相談ください。

⚠ 注意

⚠ プリント直後のサーマルヘッドは高温になっています。触れないよう、ご注意ください。やけどやけがの原因になることがあります。

お知らせ

⚠ サーマルヘッドは静電気に弱いのでご注意ください。静電気が発生した状態でヘッドに触れると、故障する場合があります。

お知らせ

サーマルヘッドをクリーニングするときは、サーマルヘッド下部にある剥離ローラーに強い力が加わらないようご注意ください。
ローラーが変形し、画質劣化の原因になることがあります。

■ クリーニングリボン (CR-D70) をお使いいただく場合

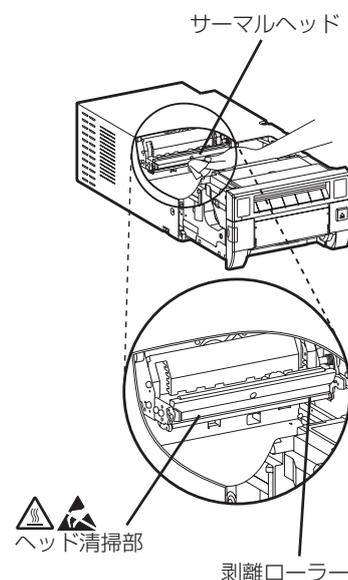
127 mm 幅のプリント用紙をご使用後に 152 mm 幅のプリント用紙をご使用になると、サーマルヘッドのクリーニングが必要になる場合があります。152mm 幅のプリント用紙のプリント面の 2ヶ所（または 1ヶ所）に図のようにスジがみられる場合は、別売のクリーニングリボンを使ってサーマルヘッドのクリーニングを行ってください。

127mm 幅のプリント用紙：L 判、2L 判

152mm 幅のプリント用紙：KG 判、A5 判、A5 ワイド判

お知らせ

クリーニングしてもプリント画質が改善されない場合はサーマルヘッドを交換してください。くわしくは販売店にご相談ください。



安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

トラブル

その他

もくじ

クリーニングについて

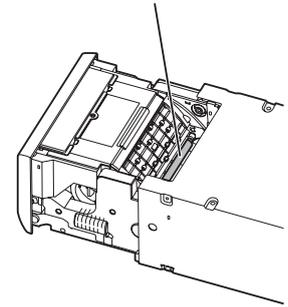
プラテンローラーのクリーニング

準備するもの

- アルコール（エチルアルコールなど）
- やわらかいきれいな布

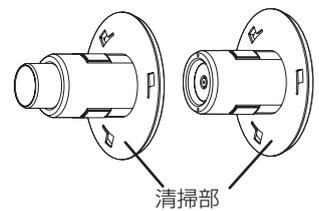
ローラー表面の黒い部分を拭きます。
布にアルコールを少量しみこませて、軽くていねいに拭き取ってください。
全体を拭くようにローラーを回しながら拭いてください。

プラテンローラー



ペーパーフランジのクリーニング

右の図で示されている部分（プリント用紙に触れている部分）を拭きます。
布にアルコールを少量しみこませて軽くていねいに拭き取ってください。



安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

トラブル

その他

もくじ

仕様について

仕様		
種類	デジタルカラープリンター	
形名	CP-D70D	CP-D707D
プリント方式	昇華染料熱転写フルカラー方式 3色面順次印画 (イエロー、マゼンタ、シアン)+ 表面保護コーティング 解像度 300×300DPI (DPI : Dots Per Inch)	
転送画素数	L判 1076 × 1568 dots KG判 1228 × 1864 dots 2L判 1568 × 2128 dots A5判 1864 × 2422 dots A5ワイド判 1864 × 2730 dots	
印画サイズ ^{*1}	L判 89 mm × 127 mm (縁なし) KG判 102 mm × 152 mm (縁なし) 2L判 127 mm × 178 mm (縁なし) A5判 152 mm × 203 mm (縁なし) A5ワイド判 152 mm × 229 mm (縁なし)	
階調数	各色 256 階調	
給紙方法	自動給紙	
インターフェイス	Hi-Speed USB (Ver. 2.0)	
電源	AC100V 50/60Hz	
消費電流	5.5 A	6.1 A
使用環境条件	温度 5℃～40℃ 湿度 30%～80% RH (結露なし)	
設置条件	動作姿勢水平 ± 5°	
外形寸法 ^{*1}	幅 275 mm × 奥行 446 mm × 高さ 170 mm	幅 275 mm × 奥行 446 mm × 高さ 340 mm
質量	約 12 kg	約 22 kg
付属品	電源コード (1本)、インクカセット (1個)、CD-ROM (1枚)、ペーパーフランチ (左右各1個)、スペーサー (2個)、クイックセットアップ (1枚)、マージンカットボックス (1個)、ペーパートレイ (1個)、結束バンド (2本)、固定バンド (1本)、固定バンド用ネジ (2本)、ワッシャー (1個)、保証書 ^{*2}	電源コード (1本)、インクカセット (2個)、CD-ROM (1枚)、ペーパーフランチ (左右各2個)、スペーサー (4個)、クイックセットアップ (1枚)、マージンカットボックス (2個)、ペーパートレイ (2個)、結束バンド (2本)、固定バンド (1本)、固定バンド用ネジ (2本)、ワッシャー (1個)、保証書※

※ 1 印画サイズおよび外形寸法は、標準値を記載しています。

※ 2 保証書は外装箱に貼付されています。ご確認ください。

■ 仕様および外観は改良のため変更することがあります。

■ 付属 CD-ROM の内容

- 取扱説明書
- プリンタドライバー
- プリンタードライバーガイド

安全・お願い

開梱

各部の名称

準備

トラブル

その他

もくじ

保証とアフターサービス

保証書（別添付）

- ◎保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。
- ◎保証書の記載内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、デジタルカラープリンターの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低 8 年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は、お買上げの販売店へお申し付けください

修理を依頼されるときは

「サービスをお申しつけの前に」をよくごらんになって、今一度お調べください。
それでも異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

◎保証期間中は

- ・修理の際には、保証書をご提示ください。
- ・保証の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

◎保証期間が過ぎているときは

- ・修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理いたします。

◎修理料金は

- ・修理技術料+部品代（+出張料）で構成されています。

この製品は日本国内用ですので、電源電圧の異なる日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。

This DIGITAL COLOR PRINTER is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

■ INTERNET INFORMATION ■ この製品に関する詳細情報、使用応用例などを、wwwサーバーでもご提供しています。

<http://www.MitsubishiElectric.co.jp/vcp/>

技術的なお問い合わせは三菱電機VCPテクニカルセンターへ。

(フリーダイヤル)



0120-710-391

075-353-0666

(携帯電話、PHSでのお問い合わせの場合)
※通話料はお客様負担です。

受付時間/AM9:30~12:00・PM1:30~5:00
(土、日、祝日を除く)

FAX 075-353-0685

E-mail pep-m@mbox.kyoto-inet.or.jp

愛情点検

●長年ご使用のデジタルカラープリンターの点検をぜひ！

（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）



このような
症状は
ありませんか

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源スイッチを入れても、表示が出ない。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

デジタルカラープリンターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

三菱電機株式会社

京都製作所 〒 617-8550 京都府長岡京市馬場図所 1 番地

J919C176E10